

大会宣言

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

第六十五回三重大会から掲げてきた大会主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」による最後の研究大会となる本大会では、大会主題の実現を目指し、過去六大会にわたる研究成果と課題を引き継ぎ、組織をあげて鋭意努力して取り組んできた。

現代は、知識基盤社会の新たな進展やグローバル化の進行、世界に類を見ないスピードで進む少子高齢化により、先を見通すことが困難な時代を迎えている。このような中、我が国では、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築することが求められている。一方、来年開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、各分野で様々な取組が行われている。教育においては、新しい時代に求められる資質・能力を育成する新学習指導要領の着実な実施に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立等が求められている。

こうした国の動向を注視しつつ、東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故をはじめとする被災各地域における教訓と取組を共有し、社会において自立的に生き抜くために必要な「生きる力」をバランスよく確実に育むことが学校教育の責務である。併せて、これからの社会を担う志をもち、社会の変化に主体的に関わり、問題解決を図る創造的な思考力やしなやかな知性といった、新たな知を生み出す力を身に付けることも求められている。そのため、小学校教育においては、ふるさとを愛する心を育む学びを起点として、他者と協働して、理想とする生き方を追求し続ける志をもち、自ら新しい社会を切り拓いていこうとする子どもを育成することが重要である。

私たち校長は、秋田大会における副主題「ふるさとを愛し 志をもって 自ら新しい社会を切り拓く子どもを育てる学校経営の推進」を基盤に据え、小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第七十一回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

記

- 一、新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一、ふるさとを愛し 志をもって 自ら新しい社会を切り拓く子どもを育てる学校経営の推進
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域社会との連携・協働による教育活動の充実
- 一、安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質能力の向上を図る現職教育の充実

右、宣言する。

令和元年十月十八日

第七十一回全国連合小学校長会研究協議会秋田大会